

企業経営動向調査（2019年度第1回〈4月調査〉）結果

調査概要

○調査対象 ……………550社	○資本金別
有効回答数 ……………135社	●5000万円以下……………57社
回収率……………24.5%	●5000万円超～1億円以下……………35社
○業種内訳	●1億円超～3億円以下……………12社
●内製造業……………54社	●3億円超……………31社
●内非製造業……………81社	

企業経営動向調査結果

I. 景況判断 (DI=「上昇」-「下降」)

1. 国内景気 DI		19年1月	19年4月	<p>○最近の国内景気 DI は、19年1月比で製造業「-26」、非製造業「+3」であり、製造業が大きく悪化。</p> <p>○先行きは、19年1月比で製造業「-13」、非製造業「-1」であり、製造業が悪化する見込み。</p>
最近	全社	-7	-16	
	内製造業	0	-26	
	内非製造業	-13	-10	
先行き (6カ月先)	全社	-22	-27	
	内製造業	-19	-32	
	内非製造業	-24	-25	

2. 業界の景気 DI		19年1月	19年4月	<p>○最近の業界景気 DI は、19年1月比で製造業は「-26」の改善、非製造業は「+10」であり、製造業が大きく悪化。</p> <p>○先行きは、19年1月比で製造業「-6」、非製造業「+7」であり、製造業が悪化する見込み。</p>
最近	全社	-7	-12	
	内製造業	-4	-30	
	内非製造業	-10	0	
先行き (6カ月先)	全社	-31	-29	
	内製造業	-29	-35	
	内非製造業	-32	-25	

3. 自社の業況 DI		19年1月	19年4月	<p>○最近の自社業況 DI は、19年1月比で製造業「-11」、非製造業「+12」であり、製造業が悪化。</p> <p>○先行きは、19年1月比で製造業「+16」、非製造業「+6」であり、いずれも改善する見込み。</p>
最近	全社	-6	-3	
	内製造業	-8	-19	
	内非製造業	-5	7	
先行き (6カ月先)	全社	-21	-10	
	内製造業	-27	-11	
	内非製造業	-16	-10	

II-1. 経営動向 (売上高)

(注) 19/1-3月期、19/4-6月期の上段の()内の数値は19年1月調査時の見通し

1. 売上高 DI (対前四半期比)	実 績		見 通 し		
	18/10-12	19/1-3	19/4-6	19/7-9	
全 社	25	(-4) 4	(-11) -9	12	<p>○19/1-3月期の売上高 DI は、18/10-12月期比で製造業「-32」、非製造業「-12」であり、製造業が大きく悪化。</p> <p>○今後の見通しは、19/4-6期は1-3期比で製造業「-4」、非製造業「-20」であり、非製造業が大きく悪化する見込み。19/7-9期は4-6期比で製造業「+23」、非製造業「+20」であり、いずれも改善する見込み。</p>
内 製 造 業	21	(-6) -11	(-8) -15	8	
内 非 製 造 業	27	(-3) 15	(-13) -5	15	

2. 経常利益 DI (対前四半期比)	実 績		見 通 し		
	18/10-12	19/1-3	19/4-6	19/7-9	
全 社	16	(-6) -2	(-15) -12	5	<p>○19/1-3月期の経常利益 DI は、18/10-12月期比で製造業「-32」、非製造業「-7」であり、製造業が大きく悪化。</p> <p>○今後の見通しは、19/4-6期は1-3期比で製造業「+6」、非製造業「-21」であり、非製造業が大きく悪化する見込み。19/7-9期は4-6期比で製造業「+7」、非製造業「+22」であり、非製造業が大きく改善する見込み。</p>
内 製 造 業	15	(-23) -17	(-12) -11	-4	
内 非 製 造 業	16	(8) 9	(-18) -12	10	

III. その他

1. 製品の在庫水準 DI (「過大」 - 「不足」)		19年1月	19年4月	
最 近	全 社	6	9	
	内 製 造 業	8	19	
	内 非 製 造 業	5	1	
先 行 き (6カ月前)	全 社	1	3	
	内 製 造 業	8	6	
	内 非 製 造 業	-5	1	

2. 生産・営業用設備 DI (「過剰」 - 「不足」)		19年1月	19年4月	
最 近	全 社	-5	-2	
	内 製 造 業	-6	-4	
	内 非 製 造 業	-5	-1	
先 行 き (6カ月前)	全 社	-4	-6	
	内 製 造 業	-8	-9	
	内 非 製 造 業	-2	-4	

3. 雇用人員 DI (「過剰」－「不足」)		19年 1月	19年 4月	<p>○最近の雇用人員 DI は、19年 1月比で製造業「+15」、非製造業「+5」であり、製造業の人手不足が改善した。</p> <p>○先行きは、19年 1月比で製造業「+4」、非製造業「+11」であり、いずれも人手不足が多少改善する見込み。</p>
最 近	全 社	-40	-33	
	内 製 造 業	-32	-17	
	内非製造業	-48	-43	
先 行 き (6カ月先)	全 社	-44	-37	
	内 製 造 業	-28	-24	
	内非製造業	-57	-46	

4. 資金繰り DI (「楽」－「厳しい」)		19年 1月	19年 4月	<p>○最近の資金繰り DI は、19年 1月比で製造業「+2」、非製造業「-6」となった。</p> <p>○先行き DI は、19年 1月比で製造業「+2」、非製造業「-5」であり、非製造業で資金繰り悪化が多少みられる。</p>
最 近	全 社	16	13	
	内 製 造 業	15	17	
	内非製造業	16	10	
先 行 き (6カ月先)	全 社	14	11	
	内 製 造 業	15	17	
	内非製造業	13	8	

5. 販売価格 DI (「上昇」－「下落」)		19年 1月	19年 4月	<p>○最近の販売価格 DI は、19年 1月比で製造業「-17」、非製造業「+5」であり、製造業は下降傾向、非製造業は上昇傾向。</p> <p>○先行きは、19年 1月比で製造業「-6」、非製造業「+4」であり、製造業は下降傾向、非製造業は上昇傾向となる見込み。</p>
最 近	全 社	10	5	
	内 製 造 業	13	-4	
	内非製造業	7	12	
先 行 き	全 社	0	0	
	内 製 造 業	0	-6	
	内非製造業	0	4	

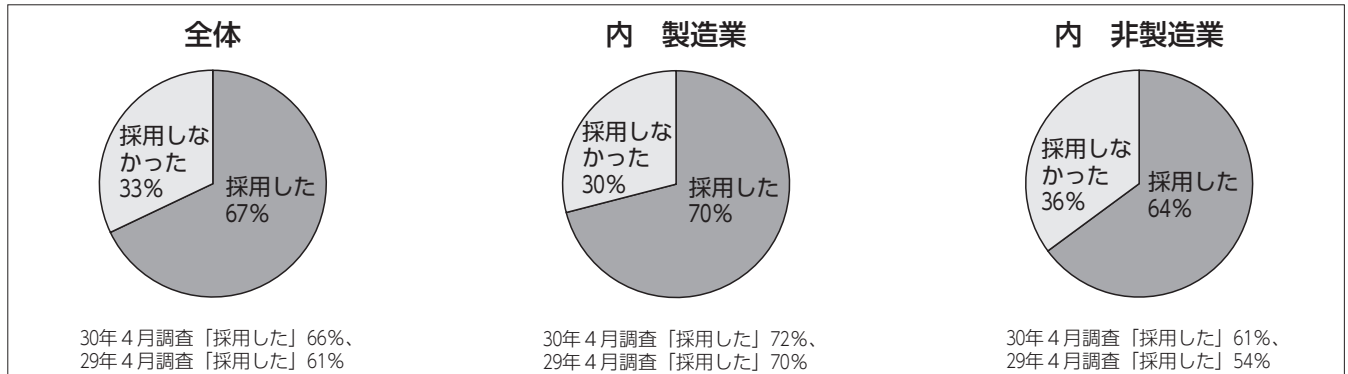
6. 仕入価格 DI (「上昇」－「下落」)		19年 1月	19年 4月	<p>○最近の仕入価格 DI は、19年 1月比で製造業「±0」、非製造業「+1」であり、いずれもほぼ横ばい。</p> <p>○先行きは、19年 1月比で製造業「+6」、非製造業「-5」であり、製造業で仕入価格が上昇する見込み。</p>
最 近	全 社	30	30	
	内 製 造 業	32	32	
	内非製造業	28	29	
先 行 き	全 社	32	32	
	内 製 造 業	40	46	
	内非製造業	26	21	

特別調査「新卒採用動向、外国人留学生採用状況及び賃金改定に関する調査」

1. 令和元年度(平成31年4月採用)の新卒者採用の有無及び令和2年度(令和2年度4月採用)計画について

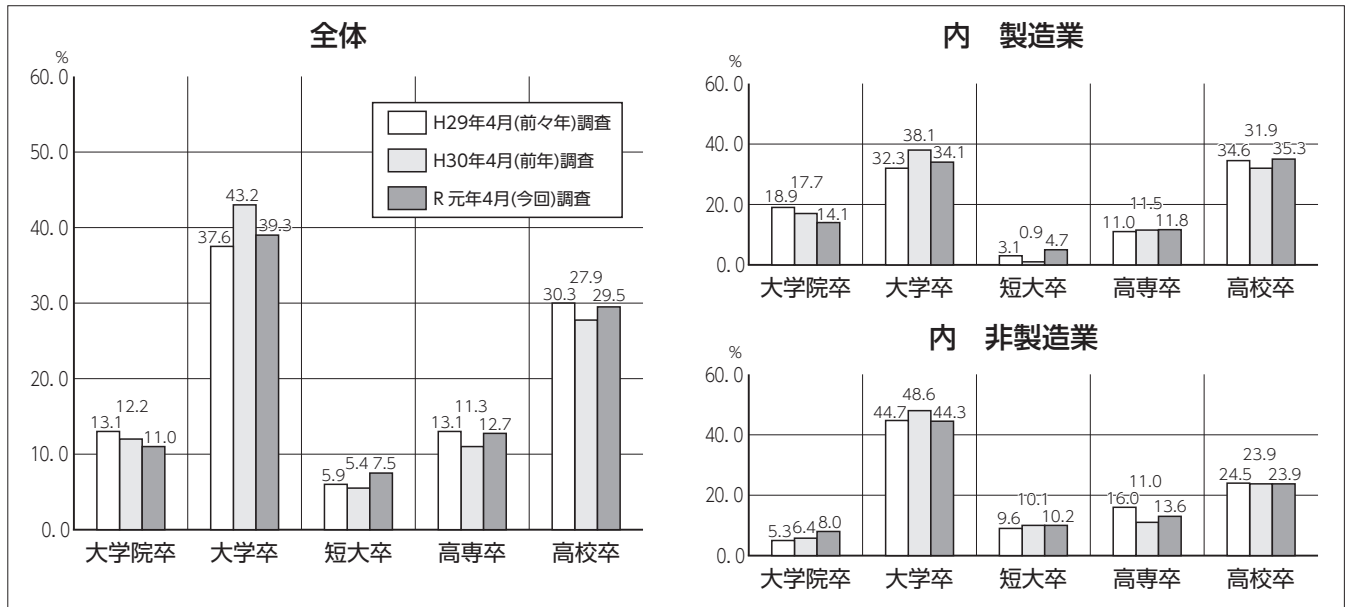
(1) 2019年4月新卒採用を行いましたか。

回答数：全体135（内製造業54、内非製造業81）



◇製造業の新卒採用比率が前年度比2%低下したものの、非製造業が前年度比3%増となり、全体は前年度比1%増となった。

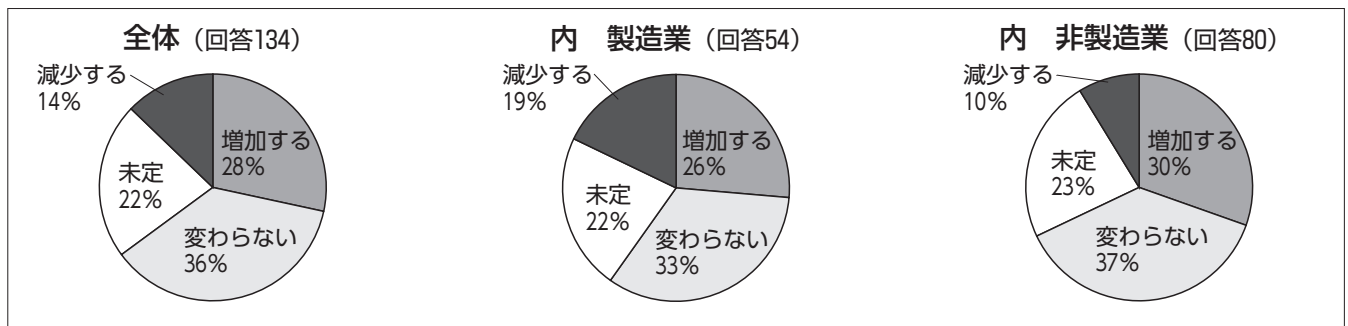
(2) (1)で採用したと回答した先に…採用した新卒の学歴は（複数回答可）。



◇学歴別では大学卒の採用比率が最も多く、次いで高校卒、高専卒、大学院卒、短大卒となっている。

◇前年度の採用比率との比較では大学院卒、大学卒が減少し、短大卒、高専卒、高校卒が増加している。

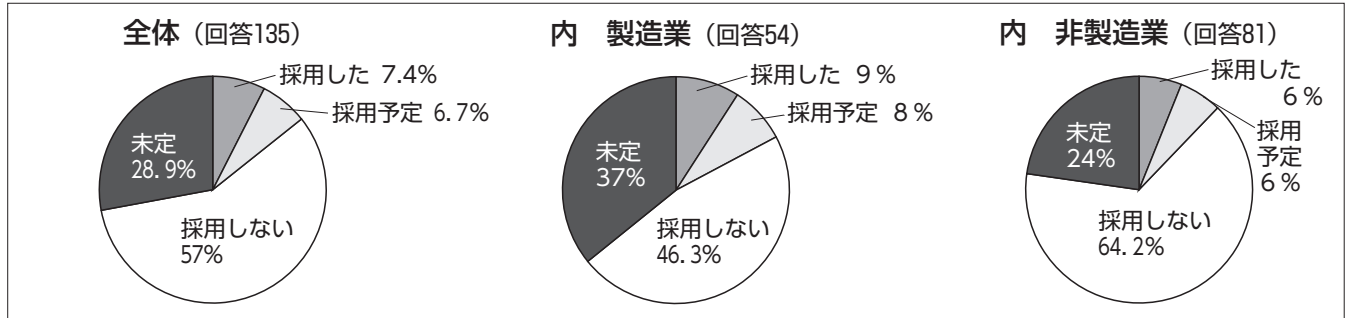
(3) すべての回答先に…令和2年4月の採用予定は令和元年度採用実績に比どのようになりますか。



◇令和2年4月の採用予定が「未定」とする比率を前年度と比較すると、全体は22.4%と前年度比+5.6%、製造業は22.2%と前年度比+0.4%、非製造業は22.5%と前年度比+10.0%となっており、非製造業の増加幅が前年度大きくなっている。

2. 外国人留学生の採用について

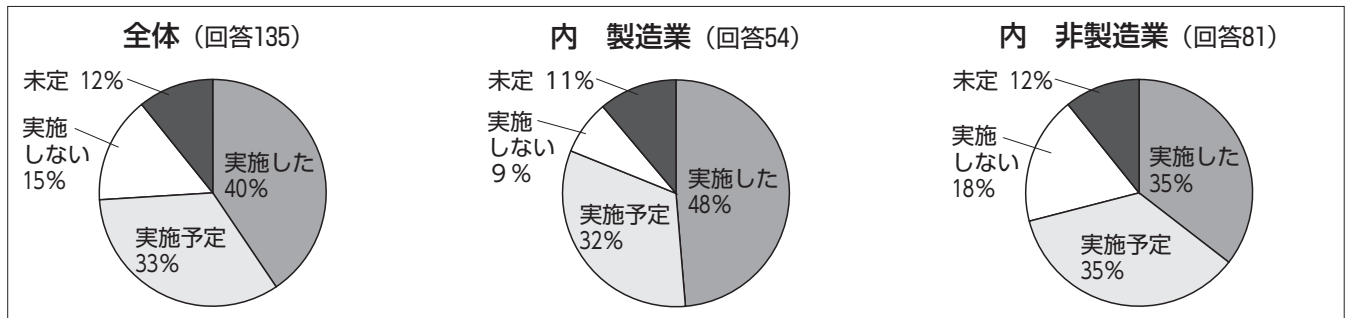
(1) 令和元年度中(H31年4月～令和2年3月)に外国人留学生を採用した、または採用する予定がありますか？



◇外国人留学生を「採用した」・「採用予定」の比率合計値を前年度と比較すると、全体は14.1%と前年度比+4.3%、製造業は16.7%と前年度比+4.1%、非製造業は12.4%と前年度比+4.8%となっており、いずれも前年度を上回っている。

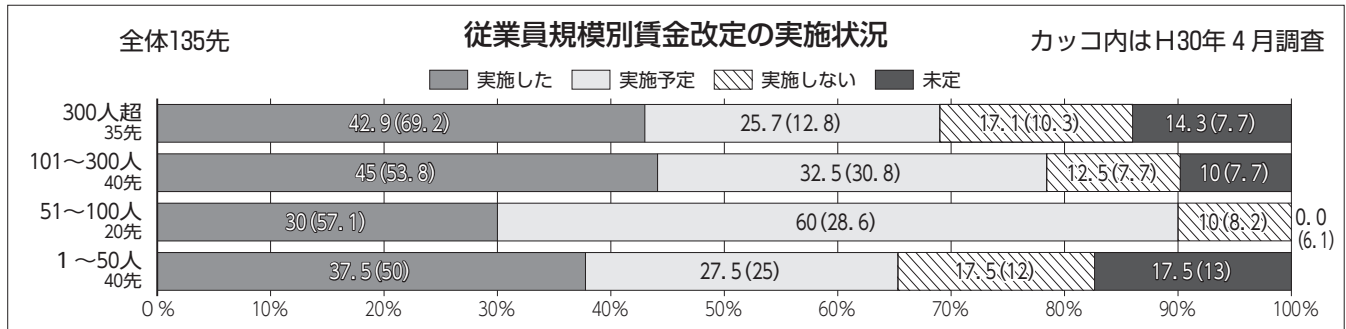
3. 令和元年度の賃金改定結果（見込み）について

(1) 平成30年度は賃金改定を実施しましたか？



◇賃金改定を「実施した」・「実施予定」の比率合計値を前年度と比較すると、全体は73.3%と前年度比-6.5%、製造業は79.6%と前年度比-5.4%、非製造業は69.2%と前年度比-6.3%となっており、いずれも前年度を下回っている。

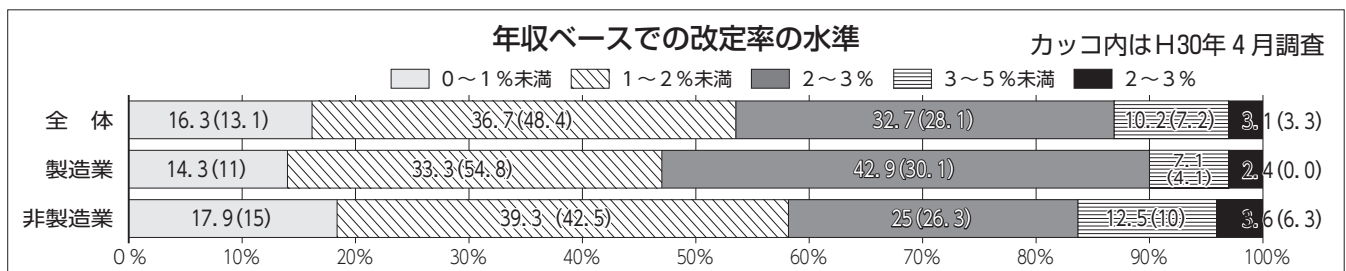
* 従業員数別賃金改定の実施状況



◇「実施した」・「実施予定」の比率合計値を前年度と比較すると、従業員300人超は68.6%と前年度比-13.4%、従業員101～300人は77.5%と前年度比-7.1%、従業員51～100人は90%と前年度比+4.3%、従業員1～50人は65%と前年度比-10%となっており、従業員51～100人のみ前年度を上回っている。

(2) 年収ベースでの改定率の水準は？

(1)の質問で、「実施した」及び「実施する予定」と回答した先に質問



◇年収ベースの改定率水準は、全体では「1～2%未満」が36.7%と最も多く、次いで「2～3%未満」32.7%、「0～1%未満」16.3%となっている。前年度の水準と比較すると、製造業は「1～2%未満」が減って「2～3%未満」が増えているが、非製造業は「1～2%未満」が減って「2～3%未満」も微減となっている。